田園調布学園大学

大学全体の教員養成の目標

本学の教員養成に対する理念は、建学の精神「捨我精進（しゃがしょうじん）」に基づいて、社会福祉の精神・知識・技術を基盤として、幼児教育や学校教育の現場で貢献できる人材を育成することである。

田園調布学園大学の建学の精神である「捨我精進」とは、自己本位の考えをできるだけ捨て、社会のために積極的に尽くし、精魂傾けて努力することを意味している。本学は、この建学の精神に基づく人間尊重を大切にし、時代の要請に対応できる柔軟な思考力と行動力があり、人間性豊かで、地域社会や国際社会の福祉に貢献できる教員を育成することを目標としている。

教員養成においては、この建学の精神をわかりやすく伝えるために、「考えよう。自分のために何ができるかではなく、他人（ひと）のために何ができるかを。」をスローガンとして学生指導をおこなっている。

具体的には、以下の 4 つの観点をめぐって、理論と実践の往還（おうかん：往復）を図りながら省察（せいさつ：深い反省と考察)を繰り返し、学生が自ら成長していくことを重視している。

① 教育に対する情熱と熱意

② 他と連携する協調性

③ 子どもが求めていることへの理解

④ 子どもの主体性を伸ばす指導力

田園調布学園大学

学部・大学院における教員養成の目標

➢　人間福祉学部　共生社会学科

人間福祉学部共生社会学科では、建学の精神に基づき、多様な福祉ニーズに対応するために、教育現場で必要な心理学および福祉学の知識や技術を身に付けた人間性豊かで専門性の高い教員の養成を目的としている。

➢　子ども未来学部　子ども未来学科

子ども未来学部子ども未来学科では、建学の精神に基づき、「子どもの最善の利益」を守り、子どもと社会の未来について深く思考しながら行動できる専門性の高い教員の養成を目的としている。

➢　人間学研究科　子ども人間学専攻

人間学研究科子ども人間学専攻では、建学の精神に基づき、「子どもを人間としてみる」という新しい教育観に立つ「子ども人間学」を基礎にして、人間学的学識に基づく質の高い教員（省察的実践家）の養成を目的としている。